

今年の夏の節電に貢献する「トップヒートバリアー」

2011年の東日本大震災以降、原子力発電が見直され、発電システムが火力発電に移行しています。このような状況下、今年の夏も節電が大きな社会のテーマとなっています。日本遮熱株式会社（本社：栃木県足利市）では僅か、0.1mmの遮熱材「トップヒートバリアー」を開発し、電力削減に大きく寄与しています。

本来この素材は過酷な環境の宇宙開発から生まれたもので、この素材を日本遮熱が実用化に成功、現在、温度管理に経費がかかる工場や、農業倉庫、食品管理が要求される店舗、住居等に使用され、その効果が注目されています。

また、この素材を施工する工法「ATISアティス」と「AYASアヤーズ」は伝導熱の阻止工法・構造特許を取得しています。

施工後の電力削減例

鉄骨建物の電力削減で	1000㎡の工場例
夏場4か月の電力削減額	－440,883円
基本料金の削減額	－1,384,673円
年間の電力削減額	－2,266,439円



問い合わせ先

〒326-0822

日本遮熱株式会社

栃木県 足利市 田中町 798-1

TEL 0284-22-8740

FAX 0284-22-8741

E-mail: nihon-shanetu@cap.ocn.ne.jp